

2023年6月27日
株式会社ロイヤリティ マーケティングPontaリサーチ会員3,000人に聞いた
第58回 Ponta消費意識調査 2023年6月発表**夏のボーナスの使い道、「貯金・預金」が10年連続1位**
～ 貯金・預金の用途は、「将来の消費への備え」が10.9ポイント減少し、40.9% ～

共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、消費者の意識とポイントの利用意向を把握するため、「第58回 Ponta消費意識調査」を「Pontaリサーチ」にて2023年5月30日（火）～5月31日（水）に実施いたしましたので、ご報告いたします。

注目トピック

「夏のボーナス」の使い道

<消費者意識>

- ・ 「夏のボーナス」の使い道（P.2～3）
 - － 調査開始以降10年連続で「貯金・預金」が1位。「支給されない・分からない」は0.4ポイント増加
2022年調査と比べて、「食品（ふだん食べるもの）」が減少し、外食関連の使い道が増加
- ・ 夏のボーナスの「貯金・預金」の割合（P.4）
 - － 夏のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、約6割
- ・ 夏のボーナスの支給額（P.4）
 - － 夏のボーナスの支給金額は「20万円～40万円未満」が減少し、「20万円未満」が増加
- ・ 夏のボーナスの「貯金・預金の用途」「用途詳細」（P.5）
 - － 「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割
「将来の消費への備え」の減少幅が大きく、10.9ポイント減の約4割

<節約志向>

- ・ 消費者の節約志向（P.6）
 - － 「節約したい」派は68.6%となり、前回調査より1.5ポイント減少

<ポイントサービスの利用意向>

- ・ ポイントの活用意識と節約志向（P.7）
 - － 「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が47.1%と最も高く、「節約したい」派では、「いまつかいたい」が44.5%と最も高い。
「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

<調査概要>

調査方法：インターネット調査
調査期間：2023年5月30日（火）～5月31日（水）
パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をいただいている方）
回答者数：3,000人 男性、女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル
※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、「Pontaリサーチ」調べとクレジットを記載していただきますようお願い申し上げます。

＼ LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています ／

消費者意識

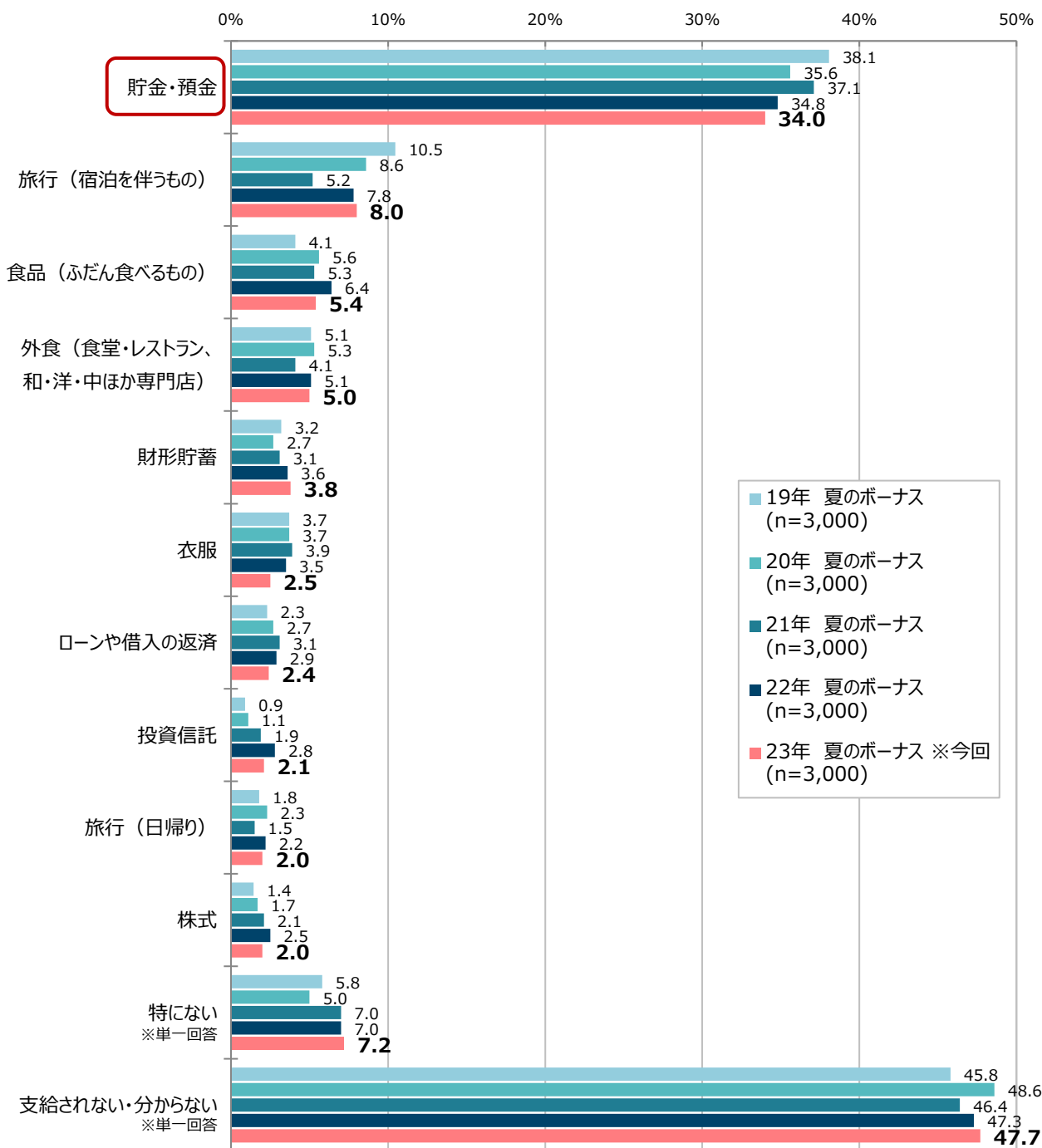
「夏のボーナス」の使い道

調査開始以降10年連続で「貯金・預金」が1位。「支給されない・分からない」は0.4ポイント増加

- ・2014年の調査開始以降、夏のボーナスの使い道は10年連続で、1位「貯金・預金」（34.0%）となった。次いで2位は「旅行（宿泊を伴うもの）」（8.0%）、3位は「食品（ふだん食べるもの）」（5.4%）だった。
- ・「支給されない・分からない」は2021年調査以降、増加しており47.7%となった。

■今年の夏のボーナスの使い道を教えてください。（3つまで）

※今回調査で上位10項目を抜粋（「特にない」「支給されない・分からない」を除く） ※回答が同数で順位に差がある場合は、小数点第2位以下に差があるため
 ※2014～2018年の夏のボーナスに関する調査結果は、こちらからご確認ください。（<https://www.loyalty.co.jp/storages/pdf/200624.pdf>）



消費者意識

「夏のボーナス」の使い道（増減の大きいもの）

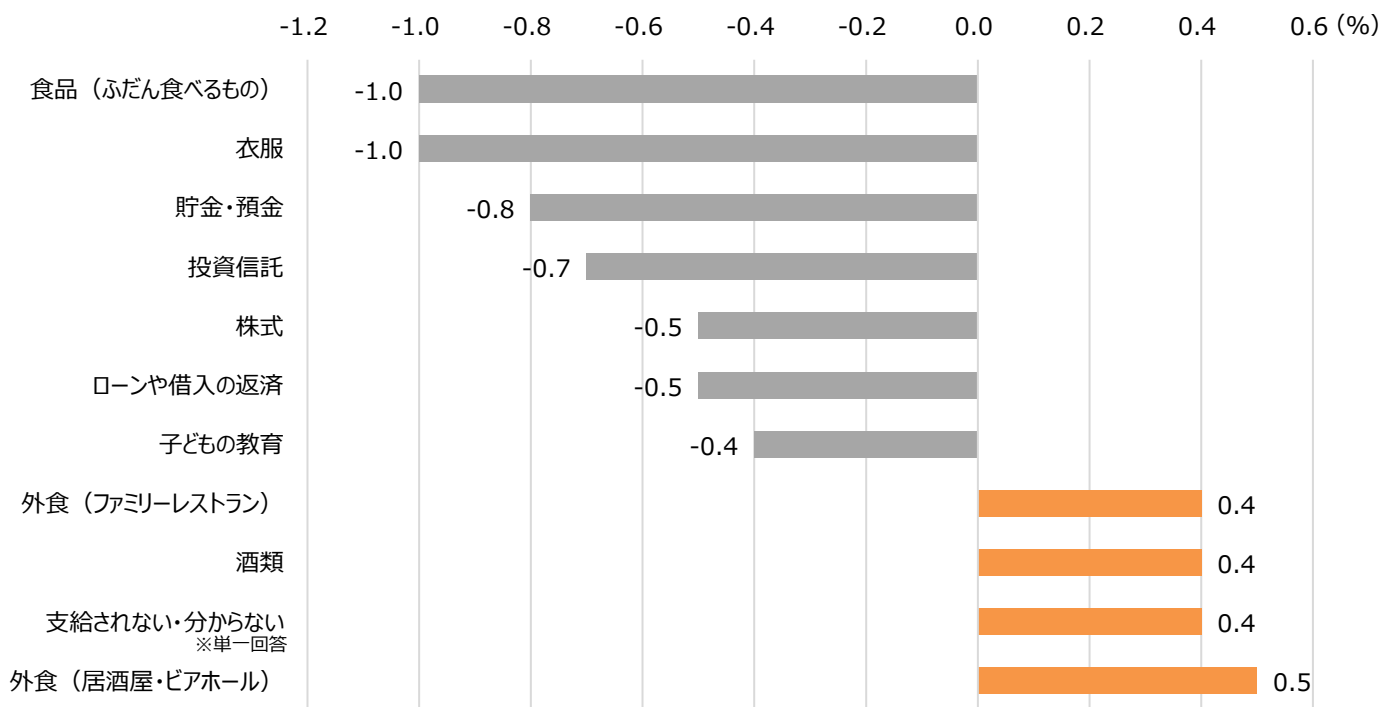
2022年調査と比べて、「食品（ふだん食べるもの）」が減少し、外食関連の使い道が増加

- ・今回調査と2022年調査を比較したところ、最も減少幅が大きかったのは「食品（ふだん食べるもの）」「衣服」で1.0ポイント減少した。次いで、使い道ランキング1位の「貯金・預金」が0.8ポイント減だった。
- ・一方、最も増加幅が大きかったのは0.5ポイント増の「外食（居酒屋・ビアホール）」。次いで0.4ポイント増の「外食（ファミリーレストラン）」「酒類」「支給されない・分からない」となった。

■今年の夏のボーナスの使い道を教えてください。（3つまで）

※P.2の調査結果のうち、今回調査と2022年調査を比較し、0.4ポイント以上増減があったものを抜粋

【2022年・2023年調査比較】



▼数値（%）

項目	22年 夏のボーナス (n=3,000)	23年 夏のボーナス (n=3,000) ※今回
食品（ふだん食べるもの）	6.4	5.4
衣服	3.5	2.5
貯金・預金	34.8	34.0
投資信託	2.8	2.1
株式	2.5	2.0
ローンや借入の返済	2.9	2.4
子どもの教育	1.6	1.2
外食（ファミリーレストラン）	0.8	1.2
酒類	0.4	0.8
支給されない・分からない	47.3	47.7
外食（居酒屋・ビアホール）	0.7	1.2

消費者意識

夏のボーナスの「貯金・預金」の割合 / 夏のボーナスの支給額

夏のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、約6割

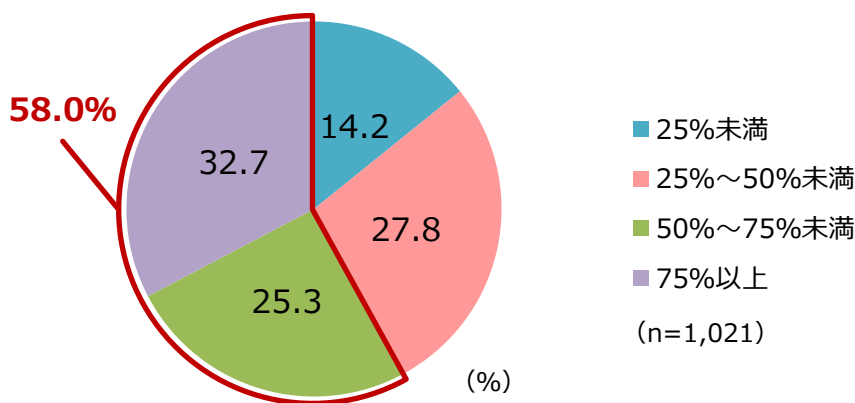
- 夏のボーナスの支給金額のうち、貯金・預金したい額の割合が「75%以上」という回答が32.7%、「50%～75%未満」が25.3%となった。
- 合わせると、支給金額のうち半分以上を貯金・預金したい人は58.0%となった。

夏のボーナスの支給金額は「20万円～40万円未満」が減少し、「20万円未満」が増加

- 夏のボーナスの世帯あたりの支給額（想定額を含む）は「20万円～40万円未満」が1.8ポイント減少し25.0%、「20万円未満」が1.7ポイント増加して、21.6%となった。

■ 支給される金額のうち、どの程度貯金・預金したいか、お答えください。（単一回答）

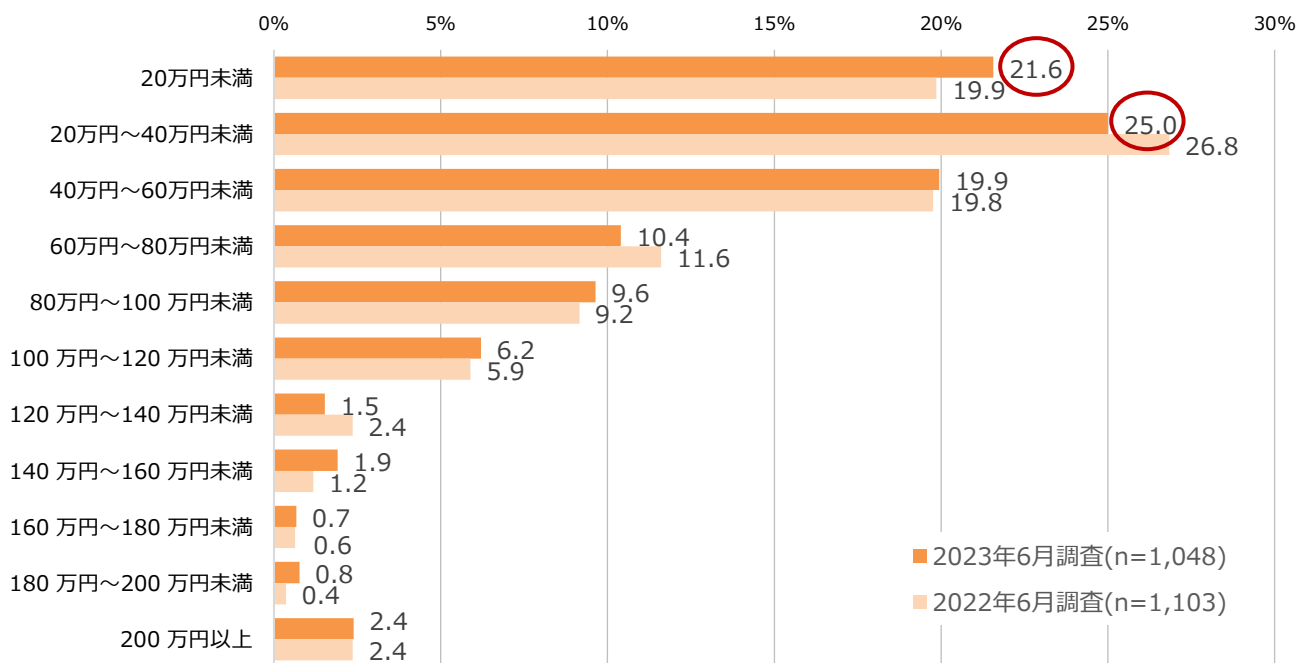
今年の夏のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



■ あなたもしくは家族にボーナスが支給される場合、今年の夏のボーナスの金額(世帯あたり)を教えてください。これから支給される場合は、想定される金額を教えてください。（単一回答）

「今年の夏のボーナスの使い道を教えてください。」の設問に対し、「支給されない・分からない」と回答した方を除く。

※本設問で金額を回答した方を抜粋（「分からない・答えたくない」と回答した n=520を除く）



消費者意識

夏のボーナスの「貯金・預金の用途」「用途詳細」

「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割

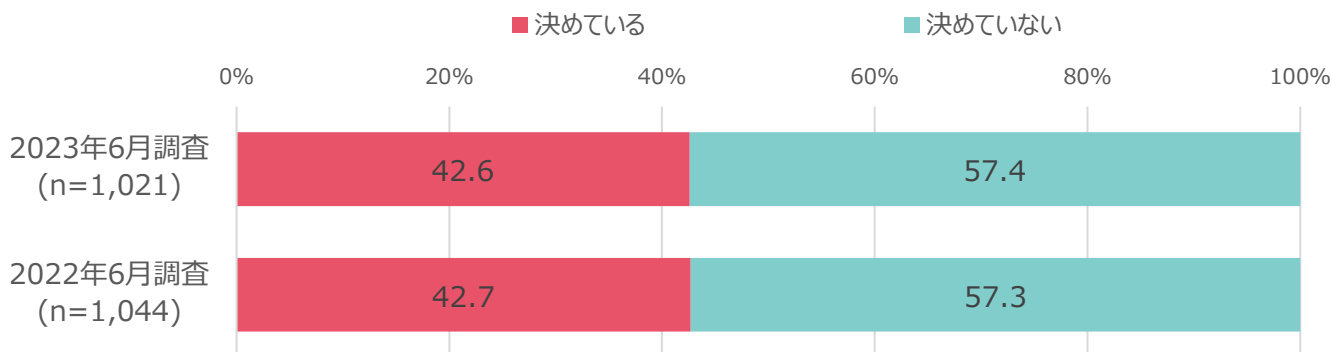
- 夏のボーナスの使い道に「貯金・預金」と答えた方のうち、用途を「決めている」のは42.6%となった。2022年調査と比べて、あまり変化は見られなかった。

「貯金・預金」の用途、「将来の消費への備え」の減少幅が大きく、10.9ポイント減の約4割

- 1位は「老後の生活への備え」（61.6%）となった。
- 2位は「将来の消費への備え」で、2022年調査から10.9ポイント減少して40.9%だった。
- 次ぐ「収入の変化への備え」（38.6%）と、ほぼ同程度の割合となった。

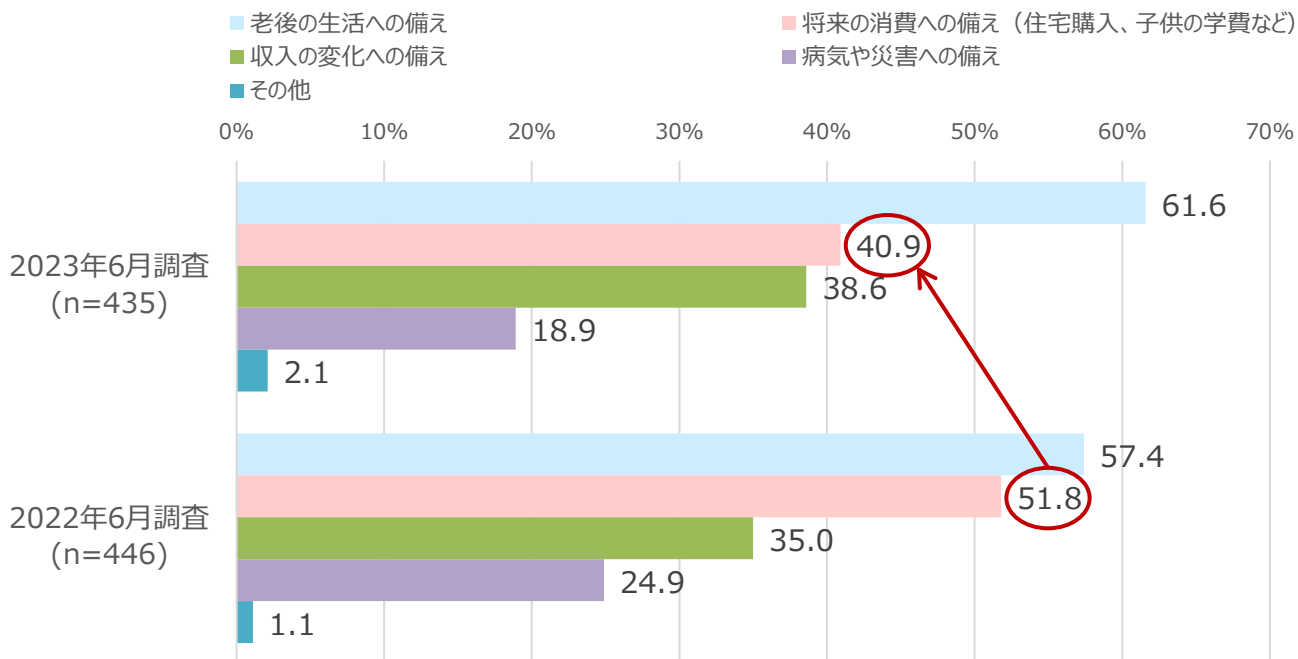
■ 「貯金・預金」の用途は決めていますか。（ひとつだけ）

今年の夏のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



■ 「貯金・預金」の用途を教えてください。（いくつでも）

今年の夏のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のうち、用途を決めている方のみ回答。



節約志向

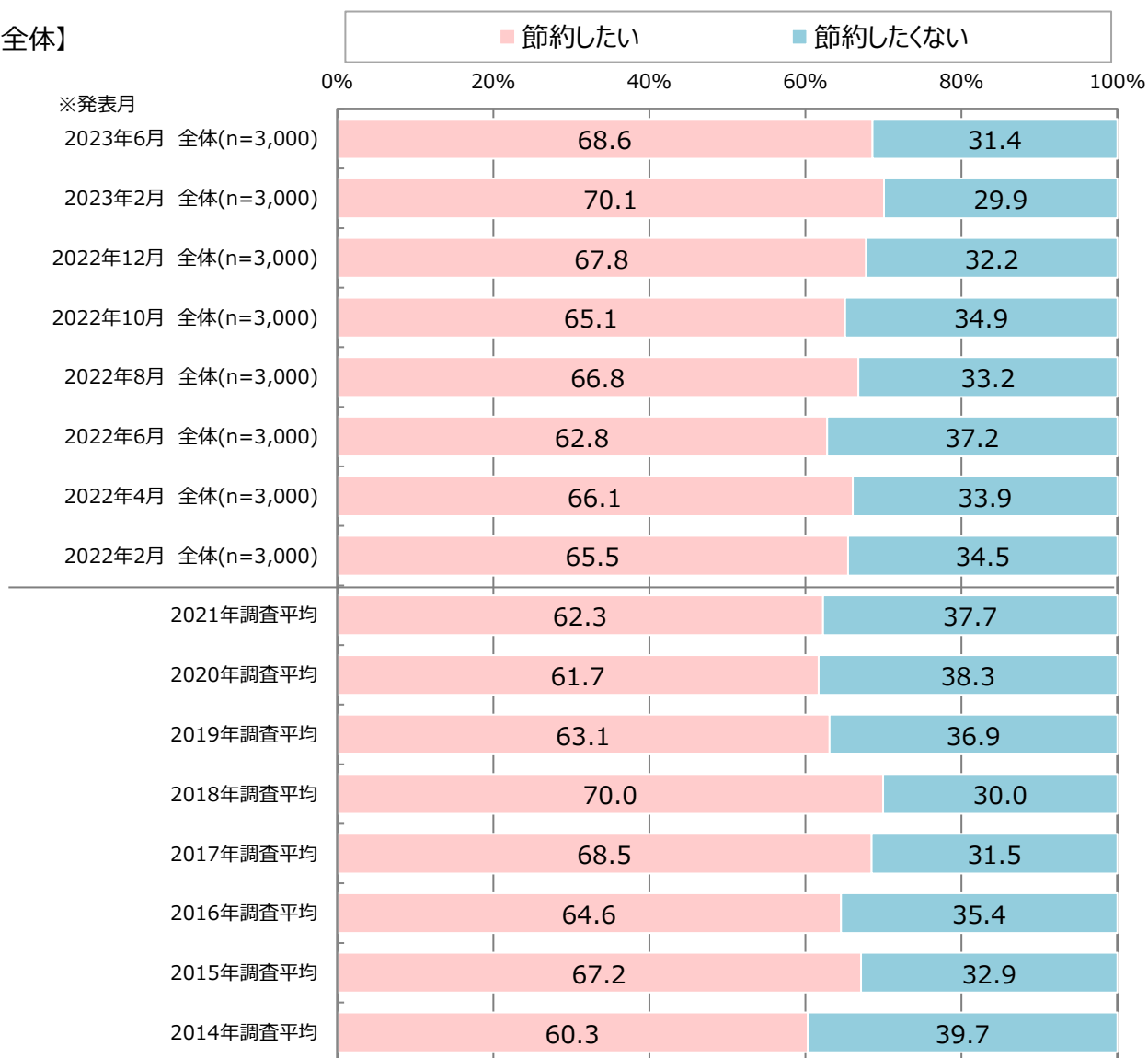
消費者の節約志向

「節約したい」派は68.6%となり、前回調査より1.5ポイント減少

・今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した「節約したい」派は、68.6%となった。

■今月の家計の支出を節約したい割合

【全体】



・節約したい…節約したい金額が1円以上
 ・節約したくない…節約したい金額が0円

【参考】 <設問> あなたは、今月の家計の支出をどのくらい節約したいですか。（半角数字で入力）
 ※とくに節約したいと思わない人は「0」と入力してください。

※2014年調査平均は4～12月の偶数月5回分、その他の年ごとの調査平均は2月～12月の偶数月6回分の平均です。
 各調査n=3,000、2014年4月調査のみn=3,013です。

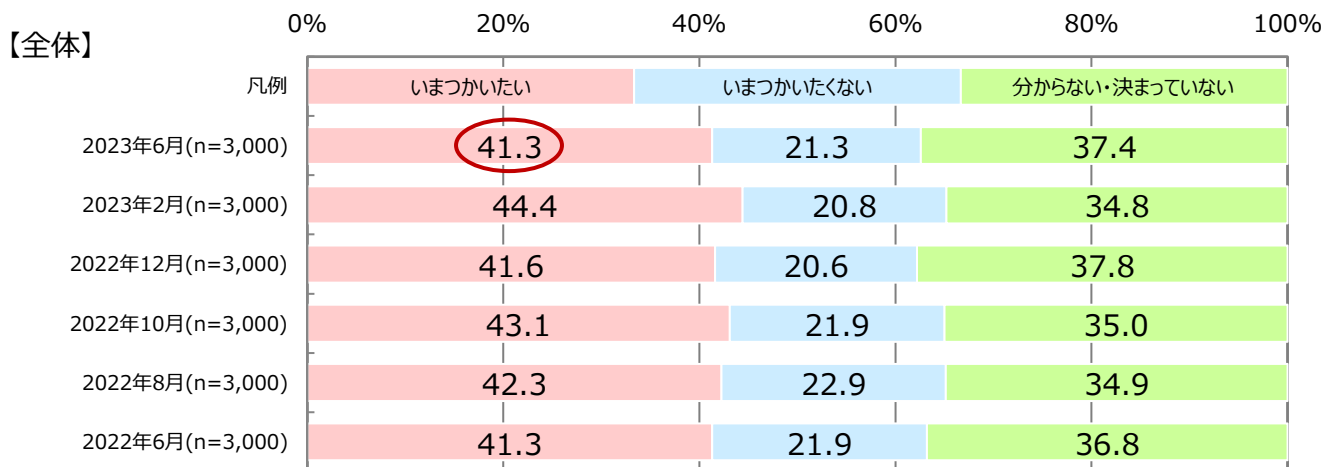
ポイントサービスの利用意向

ポイントの活用意識と節約志向

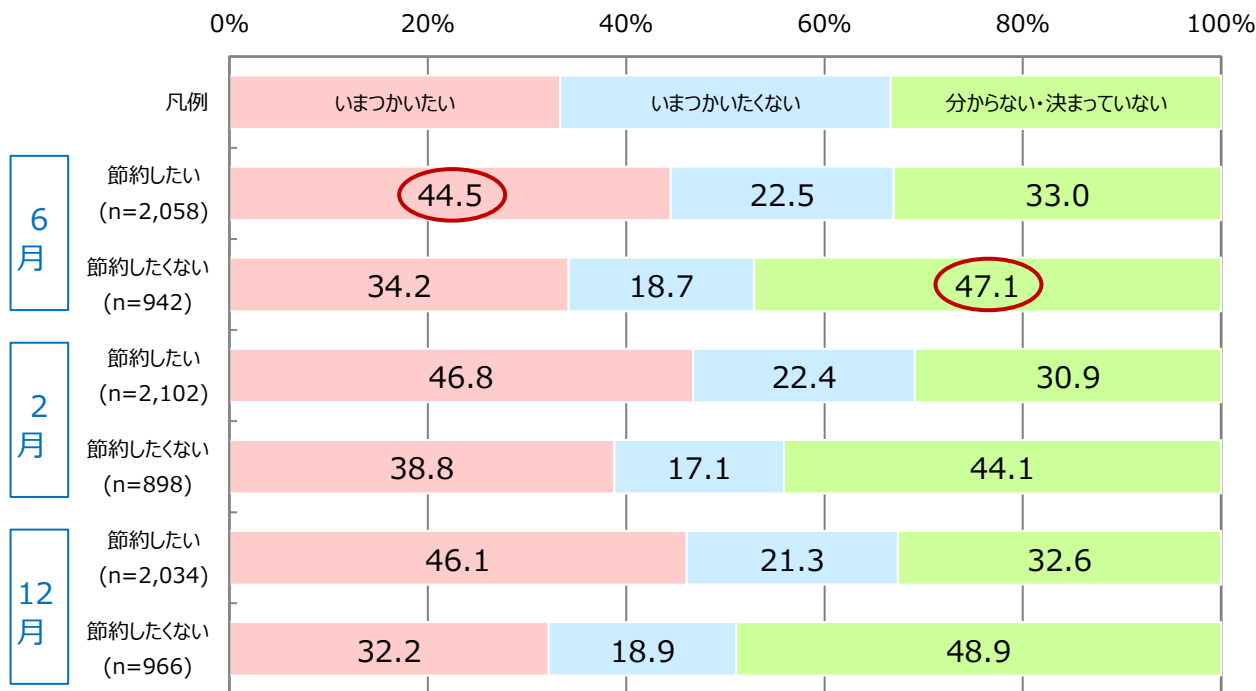
「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が47.1%と最も高く、
「節約したい」派では、「いまつかいたい」が44.5%と最も高い。
「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

・いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、41.3%となった。

■あなたはいまPontaポイントをつかいたいですか。(単一回答)



【節約志向の有無別】 (2022年12月～2023年6月調査)



<「Pontaリサーチ」について>

PontaリサーチはLMが提供するリサーチサービスで、Ponta会員のうち「Pontaリサーチ」にご登録いただいているPontaリサーチ会員を対象に、自主調査や企業および団体などから依頼を受けたアンケートをご案内しています。Pontaリサーチ会員の皆様は、アンケートにご協力いただくことでPontaポイントをためることができます。

「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

